



環境経営レポート

(対象期間：第12期 2018年9月～2019年8月)

優者共栄

作成 2019年 11月 20日

承認	作成
	

長野県 茅野市 豊平 443-2

 株式会社 芳沢スクリーン

◀ はじめに ▶

- 今期目標に掲げた、管理者及び指導者のスキルアップの度合いは少しずつ上がってきています。何のための活動なのかを原点に戻って再確認するとともに省力的かつ合理的に進めて行くと共に更なる飛躍を目指し、当社にとってのふさわしいエコアクション 21 を目指したいと思います。

“考える力・実行する力”を養い毎期安定した社業発展に努めたいと思います。

当社の強み・特徴を更にアピールし顧客満足度を上げると共に社会貢献に努めていきたいと思ひます。

株式会社芳沢スクリーン
代表取締役 芳沢 明

◆ 事業活動の概要と環境活動実施体制

事業所名・所在地 株式会社 芳沢スクリーン
長野県茅野市豊平 443-2

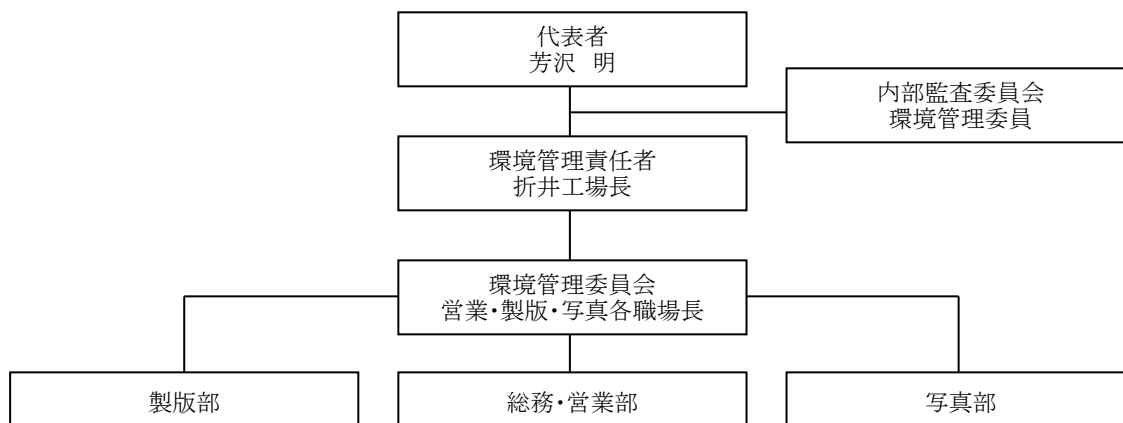
環境保全関係の責任者及び担当者・連絡先

経営者：代表取締役 芳沢 明
環境管理責任者&事務局：工場長 折井 明
TEL：0266-73-5568 FAX：0266-72-0035
E-mail：whole@y-screen.co.jp

事業活動の内容 スクリーン製版、写真製版、各種インク販売
サインディスプレイ（看板、標識等の受注及び発注）

事業規模 総売上高：249百万円 従業員：22名
延床面積：1,376m² 敷地面積：2,140m²

環境活動実施体制(環境マネジメントシステム組織図)



環 境 経 営 方 針

【基本理念】

「産業と自然」との共生

環境問題に正面から取り組み
社会に環境配慮活動を提案し
社会貢献を実践する。

【環境経営方針】

1. 当社の事業活動により生じる環境への影響をしっかりと把握し、継続的改善及び環境汚染防止に努めます。
2. 環境に関しての法律、協定を遵守します。
3. 当社の事業活動によって生じる環境影響については、次の視点から適切な環境目的及び目標を設定し、活動していきます。

環境目的、目標は定期的に見直しを行います。

- ①技術提案、環境提案を拡大する
 - ②省資源、省エネルギーに取り組む
 - ③使用化学物質及び廃棄物を削減し、適正に処理する
 - ④作業環境の安全衛生の向上に伴い、環境汚染防止に務める
4. グリーン購入・グリーン調達を積極的に進めると共に、購入先への要望・要請も合わせて取り組む。
 5. 環境に配慮した製品を生産または販売をします。
 6. 地域周辺への環境保全に配慮し、地域から信頼される事業活動を行います。
 7. 環境経営方針は、全社員に周知徹底し、社外へ公開します。

2018年9月1日

株式会社 芳沢スクリーン

代表取締役 芳沢 明

◆ 負荷の自己チェック状況

環境への負荷		単位	第10期 (2016年9月～ 2017年8月)	第11期 (2017年9月～ 2018年8月)	第12期 (2018年9月～ 2019年8月)
①温室効果ガス(二酸化炭素)排出量		kg-CO ₂	64480	69183	63762
②廃棄物 排出量	一般廃棄物	焼却	kg	2925	3077
		埋立	kg	339	250
	産業廃棄物	再生利用	kg	1807	1876
		廃酸・廃アルカリ	kg	2600	2800
③-1 総排水量(下水道)		m ³	441	623	638
③-2 水使用量(上水)		m ³	441	623	638
④化学物質 使用量	ノルマルヘキサン 10%	kg	27	33	26
	ハイドロキノン 3%	kg	18	20	21
⑤エネルギー 使用量	購入電力	MJ	940667	1030270	922515
	化石燃料	MJ	306810	315597	305361
⑥資源使用量		kg	11,129	11759	9780
⑦サイト内で循環的利用を行っている物質			(なし)		
⑧製品生産量(製版・写真 売上高) 前年比		円	4.06%増	9.09%増	21.54%減

※ 購入電力の排出係数は2008年度の中部電力株式会社・実排出係数 0.455 kg-CO₂/kWh の値で計算しました。

◆ 環境目標と活動計画における取組内容、及びその結果と次年度の取組内容

■ 紙使用量削減		判定：◎													
中長期目標 基準年 11期全社 0.92kg/百万円 写真部 4.39kg/百万円		【取組内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・両面印刷 ・裏紙使用(全社供用使用) ・社内文書データ化 ・写真部 PDF チェック方法のペーパーレス、客先とのペーパーレス化の統一 ・写真部指摘不良件数の低減 													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>12期</th> <th>13期</th> <th>14期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全社</td> <td>0.89</td> <td>0.92</td> <td>0.92</td> </tr> <tr> <td>写真部</td> <td>3.59</td> <td>4.39</td> <td>4.39</td> </tr> </tbody> </table>		12期	13期	14期	全社	0.89	0.92	0.92	写真部	3.59	4.39	4.39	【評価(取組結果と次年度の取組内容)】 全社、写真部とも目標達成できました。取組みを継続し、次期目標は全社は現状維持、写真部は新規客先での使用量増のため現状維持とし状況により見直しが必要な場合見直しをします。	
	12期	13期	14期												
全社	0.89	0.92	0.92												
写真部	3.59	4.39	4.39												
12期全社実績 0.89 k g /百万円 12期写真部実績 3.59 k g /百万円															

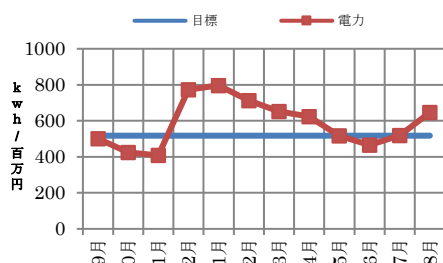
■ 二酸化炭素排出量・電力における削減

判定：△

中長期目標 基準年 11期 517.3kwh/百万円
(製版、写真売上げ)

12期	13期	14期
586.6	517.3	517.3

12期実績 586.6kwh/百万円



【取組内容】

- ・PC電源管理(各自の使用状況に合わせ設定)
- ・空調最適温度管理
- ・常時稼働エアコン温度変化の監視(HOBO、オムロン)
- ・写真部明室、製版部コーティング室エアコンの夜間、休日停止による品質管理
- ・品質改善、作業効率UP

【評価(取組結果と次年度の取組内容)】

前期より更に使用量が増え目標未達成となりました。コーティング室エアコンの常時稼働や剥がし工程の電力が増えたことと夏の外気温上昇が要因となっています。次期目標については第11期の実績を基準に現状維持とし、今後製版部品質改善、全社作業効率UPの取組みを継続します。

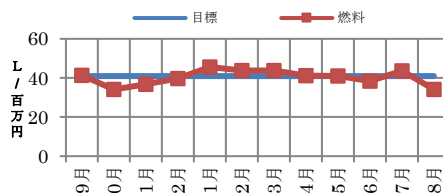
■ 二酸化炭素排出量・自動車燃料における削減

判定：◎

中長期目標 基準年 11期 41.3L/百万円
(製版、写真、一部商品売上)

12期	13期	14期
40.3	41.3	41.3

12期実績 40.3L/百万円(月)



【取組内容】

- ・効率的な営業活動と配送
- ・燃費の良い車の有効利用
- ・アイドリングストップ
- ・急加速急発進の防止

【評価(取組結果と次年度の取組内容)】

営業範囲の拡大、売上げの落ち込みの影響はありましたが効率的な営業活動と配送に取組み目標達成しました。取組みを継続し現状を維持します。

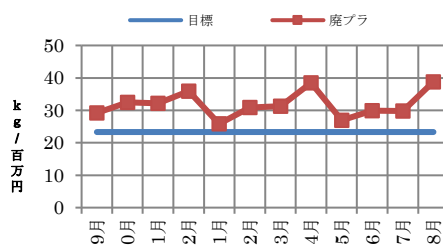
■ 廃棄物分別・削減

判定：△

中長期目標 基準年 11期 23.3kg/百万円
(製版売上)

12期	13期	14期
31.8	23.3	23.3

12期実績 31.8kg/百万円



【取組内容】

- ・廃棄物計量の徹底
- ・リサイクル品の徹底
- ・グリーン購入、調達を検証(仕入れメーカーへの納入形態の簡素化、納入資材のリサイクル使用の要望、要請)

【評価(取組結果と次年度の取組内容)】

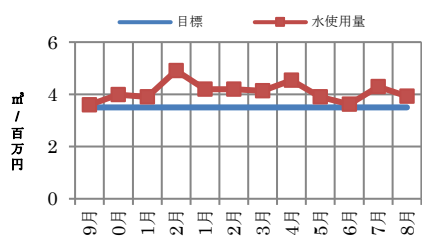
前期まで可燃ごみとして廃棄をしていた剥がしゴミ、スクリーンの端材、ビニールゴミ全てが廃プラでの廃棄となり今期より廃プラ全てを対象としました。目標値は現状維持のまま目標は未達成ですが中期目標の来期まで現状維持のまま取組み、必要に応じて見直しをします。

■ 水使用量の削減

判定：△

中長期目標 基準年11期 3.12 m³/百万円
(製版、写真売上)

12期	13期	14期
4.1	3.12	3.12

12期実績 4.1 m³/百万円

【取組内容】

- ・製版部不良率の低減
- ・製版部前処理洗浄の見直し
- ・前処理作業の統一
- ・写真部フィルム不良率低減
- ・設備水漏れ点検実施
- ・節水

【評価(取組結果と次年度の取組内容)】

目標は未達成となりました。現状の作業方法を継続し、次期目標は現状維持とし、不良率低減に努め削減につなげます。

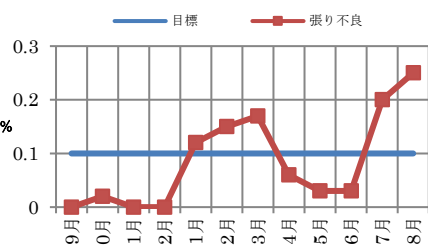
■ 製版部不良率削減(張り加工)

判定：◎

中長期目標 (基準年11期 0.1%以下) %

12期	13期	14期
0.09	0.1	0.1

12期実績 0.09% (月平均)



【取組内容】

- ・枠の良悪し選別
- ・張り機スクリーンコーナー部緩め徹底
- ・ボンド塗布時浮き押さえ
- ・版、取扱注意
- ・スクリーン種類別強度の教育
- ・新人教育により過去の同類不良発生の撲滅

【評価(取組結果と次年度の取組内容)】

人員入れ替え時の新人教育で過去の不良再発がないようポイントを明確にし研修生に分かるように説明し理解させて作業をスタートさせました。剥がれ不良、キズ見落としの不良発生はありましたが目標達成しました。特定の版の剥がれが多いため張り機のエアの調整、ボンドの塗り方の再指導をしました。次期目標現状維持で取組みを継続します

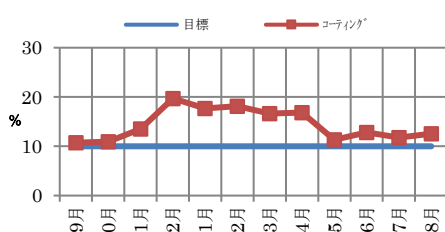
■ 製版部不良率削減(コーティング)

判定：△

中長期目標 (基準年11期 10.0%以下) %

12期	13期	14期
14.4	10.0	10.0

12期実績 14.4% (月平均)



【取組内容】

- ・品質改善
- ・コーティング室へのゴミ、ホコリの持ち込み防止
- ・コーティング前ゴミ、ホコリのハンドクリーナーによる確実な除去
- ・バケット先端乳剤の確実な拭き取り
- ・定期交換品の管理、交換

【評価(取組結果と次年度の取組内容)】

前期より引き続き品質向上を第一に品質改善の取組みを継続していますが目標未達成となりました。室内環境の設定の見直し、コーティング室入室時のエアシャワー、ゴミ取りローラーによる防塵着のゴミ取り、コーティング前の版のハンドクリーナーによる確実なゴミ取り、室内、機械の清掃の取組みを継続し次期目標は現状維持で取組みを継続します。

■ 製版部不良率削減(焼き付け)		判定：△
中長期目標（基準年11期0.1%以下）%		
12期	13期	14期
0.54	0.1	0.1
12期実績0.54%（月平均）		
		【取組内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・人員入れ替え時の確実な教育の実施 ・込まない運動実施 ・PS版ゴミの確実な確認 ・注文書、フィルム膜面、版種の確認 ・決めたことを守って確実な作業をする
【評価(取組結果と次年度の取組内容)】 ゴミ付着が主な原因として不良が発生し目標未達成となりました。作業標準に沿った確実な作業を徹底させ不良撲滅に取り組みます。		
■ 写真部指摘不良低減(データ編集)		判定：◎
中長期目標（基準年11期4件以下/月）件		
12期	13期	14期
0.42	4	4
12期実績0.42件（月平均）		
		【取組内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・込まない運動実施 ・チェックリストに準じた作業方法の遵守 ・指摘事項、不良発生時の対策会議実施 ・決めたことを守って確実な作業をする
【評価(取組結果と次年度の取組内容)】 指摘不良は通年を通して5件で目標達成できました。個人個人の取組み内容、目標を明確にし（1つ1つのプロセスの手抜きをしない）を通年のテーマとして取組み良い成果が出ました。次期取組みを継続します。		
■ 写真部フィルム不良率削減		判定：◎
中長期目標（基準年11期1.0%以下）%		
12期	13期	14期
0.44	1.0	1.0
12期実績0.44%（月平均）		
		【取組内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・作画不良、フィルムカットサイズ不良、修正不良の低減 ・新入社員入社時事前教育により取扱い不良の低減 ・現像機暗室温度調節による結露対策により不良防止
【評価(取組結果と次年度の取組内容)】 目標を1.0%に下げ取組みを継続しました。不良枚数は最小限に抑えられ目標達成できました。次期取組みを継続します。		
■ 化学物質の削減		判定：◎
作業環境の安全性向上（現状維持）		
		【取組内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・張り作業環境の監視 ・接着剤混合時防臭マスク着用
【評価(取組結果と次年度の取組内容)】 <ul style="list-style-type: none"> ・作業環境測定機関(コーエキ)による環境測定実施。(6ヶ月毎) 10月・第1管理区分、問題なし 3月・第1管理区分、問題なし 		

■ 事務用品のグリーン購入		判定：◎
事務用品購入時の環境配慮 	【取組内容】 ・事務用品購入時グリーン購入対象商品確認後購入 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】 ・ネット購入時確認後購入 ・仕入れメーカーへの納入形態の簡素化、納入資材のリサイクル使用の要望、要請の拡大	
■ 製品、サービスに関する環境への取り組み		判定：◎
	【取組内容】 ・製版部張り作業環境の監視 ・営業活動、配送ルート効率化により燃費の良い車の有効利用 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】 前期に引き続き、納品、営業活動に合わせた生産をし時間をベースに物事を進める取組みをしました。良い結果が出てきていますので、人員の配置を管理し更に効率を上げる取組みを継続します。	

◆ 環境教育の実施／緊急事態の特定、準備、訓練

当社では環境活動の周知徹底を図るため、環境方針や取組状況を環境掲示板へ掲示するとともに、毎月全体朝礼を実施し、取組結果の報告をして各部署の取組による成果を確認しています。また外国人作業用に、母国語環境方針の翻訳版を掲示し、読み合わせを行い、職場リーダーにより更に理解できるようフォローアップに努めています。その他、第12期に実施した環境教育は下記のとおりです。

教育訓練名称	対象者 実施日	講師・主催	内容	
全社員教育 (全体朝礼)	全社員 (毎月)	社長 環境管理責任者	環境方針の周知徹底 取組結果の報告 各部署の取り組みによる成果確認	
新入社員教育 外国人労働者教育	製版部、写真部 新入社員受入時 2018・11/5 2019・1/21、 3/1、8/1	環境管理責任者	環境方針の周知徹底、読み合わせ 環境マニュアルの読み合わせ 各部署における取り組みについての説明	
有機溶剤の取り扱いについて	製版部 (研修生受入時) 2019、3/1、8/1	有機溶剤作業主任者	有機溶剤使用時の注意点 (接着剤、シンナーの取扱いについて)	
避難訓練	全社員 (2019/8/10)	環境管理責任者 地域消防経験者	緊急事態対応の訓練 (地震発生を想定し避難訓練)	
漏洩訓練	製版部 (2019/8/10)	環境管理責任者	緊急事態対応の訓練 (漏洩)	

当社では緊急事態対応として、火災、地震、停電、大雨、台風、漏洩の6項目を特定しています。

全従業員に対し、地震発生を想定し、緊急事態対応手順書に基づき、避難訓練を行いました。

外国人作業員へは、(製版職場)小林Lにより、更に理解できるようにフォローUPしました。

大きな地震の場合に備えて、日頃から家族の安否確認方法や帰宅方法も考えておくようにしました。

漏洩訓練では当該部署の社員に対して、緊急事態漏洩訓練の手順書に基づき、実際の緊急事態を想定して新入社員作業員に指導しながら、用具の使用方法等理解できるよう説明し訓練できました。ボンド、うすめ液の危険性を説明し保護具着用の必要性を説明して理解を深めました。

◆ 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に適用となる環境関連法規は下記の通りです。2019年9月21日、遵守の確認を行い、特に問題はありませんでした。また関係当局よりの違反の指摘は、過去5年間ありません。

適用法	法規制対象	遵守状況
廃掃法	廃棄物管理	○
消防法 諏訪広域火災予防条例	危険物第4類第一石油類 シンナー、ボンド	○
茅野市公害防止条例 (騒音・振動規制)	空気圧縮機	○
下水道法	下水道	○
水質汚濁防止法	チオ硫酸アンモニウム	○
毒物劇物取締法	メタノール	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン、コンプレッサー用ドライヤー	○
労働安全衛生法 (有機溶剤中毒予防規則)	ボンド、うすめ液	○

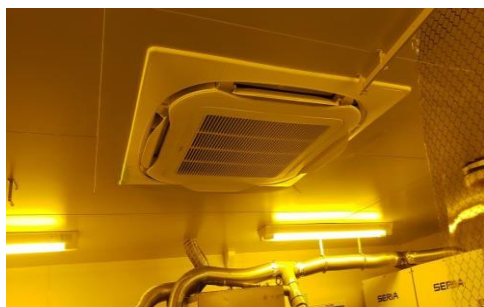
◆ 内部監査の結果

	良かった点	改善すべき点
経営者 環境管理責任者 事務局 推進委員	<ul style="list-style-type: none"> ・製版部、コーティング室のエアコン入れ替えにより作業環境の安定ができた。 ・写真部、取り組みの継続により紙使用量、指摘不良、フィルム不良の全てで目標が達成できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期に続き、製版部コーティング不良による再作が前期より更に増え、年間を通しての不良率目標未達成となっている。 ・品質向上を第一にPDCAに完全・簡潔に取組み、一つ一つのプロセスを怠らず継続的に改善に取り組むこと。
製版部門	<ul style="list-style-type: none"> ・焼きつけ・検査工程に加えテープ貼りについても作業日報入力システム導入により作業状況、作業効率が全て把握できるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーティング工程の不良率改善をするために品質向上を第一にPDCAに完全・簡潔に取組み、一つ一つのプロセスを怠らず継続的に改善に取り組むこと。 ・時間をベースに計画的に物事を進め、現状を把握して作業員の配置をきちんと管理すること。

<p>写真部門</p>	<p>・前期よりの取り組み継続により紙使用量、指摘不良、フィルム不良の全ての取り組みで目標が達成できた。</p>	<p>・指摘不良点数は月平均 0.42 件で目標未目標達成できています。指摘不良は 0、根絶を目指して個人個人の取り組み内容、目標を明確にし(一つ一つのプロセスの手抜きをしない)を通年のテーマとして取り組みを継続すること。</p>
-------------	--	---

◆ 現場の大きな改善

【1.製版部エアコン入れ替え】



◆ 代表者による全体の評価と見直し

2019 年 9 月 20 日、代表者による全体の見直しを行い、次の結果が得られました。

【環境経営方針】

2018 年 9 月 1 日、環境経営方針に変更。

【目標・活動計画の状況】

紙使用量の削減：裏紙は全社、写真部ともに目標達成しました。

自動車燃料の削減：効率の良い営業活動により目標達成。

電力、水使用量の削減：製版部品質改善の取り組みを継続しましたが更に不良率が上がってしまい目標未達成となりました。次期目標は第 12 期の目標を継続し取り組みを継続します。

製版部不良率削減：前期より継続して削減取り組みをしてきましたが更に不良率が上がってしまい目標未達成。不良発生原因を徹底的に追求し PDCA を実行する。目標、取り組みは継続します。

写真部指摘不良低減：指摘不良件数は月平均 0.44 件、目標達成できました。指摘不良は 0 件、根絶を目指して個人個人の取り組み内容、目標を明確にし(一つ一つのプロセスの手抜きをしない)を通年のテーマとして取り組みを継続します。

【総括】

- ①時間ベースに物事を進め、作業者の配置も踏まえて管理し効率アップを図ること。適切(具体的)な指示をする
- ②PDCA に完全・簡潔に仕組み、一つ一つのプロセス(過程)を怠らないこと。
- ③仕組みについては指示後決められたことを守って即時実行し結果を報告すること。
- ④データ収集は収集が目的ではなく、データを考察し取り組むことが目的、
- ⑤製造工程の更なる確立・安定・維持を図る。